

# 第6回経絡経穴研究会 (in 大阪)

(主催; 日本経絡経穴研究会)

- 日 時: 平成31年3月17日(日) 10時30分～16時
- 会 場: 東洋医療専門学校(大阪市淀川区西宮原1-5-35)
- 内 容;

## ワークショップ【経穴学授業への一石—Teachingから、Learningへ—】

講師: 池藤仁美(関西医療大学 はり灸・スポーツトレーナー学科 助教)

経絡経穴の受動的学びから能動的な学びの方法を提案します。経絡経穴を身につけるためには、「受講者自身が、経絡経穴の意味に気付き、興味を持って学修を進める」ことが重要です。それを体験してもらうために、ワークショップ形式の授業を行います。

## 定期研究会【経穴部位国際標準化10年の総括と今後の課題】

第Ⅰ部(13時5分～14時15分) 司会: 形井秀一(筑波技術大学 名誉教授)

- 「2009年『新版 経絡経穴概論』発行以降の、経穴部位の使用状況の変化について」  
坂口俊二(関西医療大学 はり灸・スポーツトレーナー学科 教授)
- 「経穴国際標準部位の見直しに向けた日本案」  
浦山久嗣(赤門鍼灸柔整専門学校 臨床教育専攻科 専任教員)

第Ⅱ部(14時25分～15時55分) 司会: 篠原昭二(九州看護福祉大学 鍼灸スポーツ学科 教授)

- 「経穴の使用頻度調査について」  
三谷直哉(九州看護福祉大学 鍼灸スポーツ学科 助教)
- 「経絡病証の確立に向けた新たな仮説について」  
篠原昭二(九州看護福祉大学 鍼灸スポーツ学科 教授)
- 「ICD-11における経絡病証の使用状況調査について」  
斉藤宗則(明治国際医療大学 鍼灸学科 特任准教授)

### ■参加資格と参加費;

・午前のワークショップ[定員20名]

\* あはき師の養成施設の教員、大学院生、教員養成科の学生限定  
参加費は5,000円、午後も引き続き参加する場合は7,000円

・午後の定期研究会[定員100名]

\* 一般・学生の参加が可能(学生は、当日受付にて学生証の提示が必要)  
参加費は一般5,000円、学生2,000円(あはき師何れかの有資格者除く)

◎午前・午後とも事前予約をお願いいたします。実行担当の関西医療大学の坂口までご一報下さい[電話・FAX:072-453-8409, E-mail: sakaguti@kansai.ac.jp]。定員になり次第、締め切らせていただきます。参加費は当日受付にてお支払い下さい。

■備 考; 午後からの定期研究会は、(公社)全日本鍼灸学会認定C講座に申請予定